

9月中旬から夏の暑さや和らげ、収穫の秋を迎えます。

10月2日 守護の天使

カトリック教会は、昔から聖書に基づいて、神は天使を造られ、一人ひとりを守っていると信じてきた。「あなたには災難もふりかかることがなく天幕には疫病も触れることがない。主はあなたのために、御使いに命じてあなたの道のどこにおいても守らせてくださる。彼らはあなたをその手にのせて運び、足が石に当たらないように守る。」（詩編 91.10-12）など、聖書に守護の天使のことが記されています。



また、それぞれの人に守護の天使がいるということは、イエスの教えの中にも見られる。「これらの小さな者を一人でも軽んじないように気をつけなさい。言うておくが、彼らの天使たちは天でいつもわたしの天の父の御顔を仰いでいるのである」（マタイ 18.10）。また、天使はイエスがゲッセマネの園で苦しまれたときに、イエスを力づけた（ルカ 22.43）。

このように天使を人間の保護者にしたことは、神の愛のしるしといえる

10月4日 アッシシの聖フランシスコ

1181年-1226年 フランシスコは、イタリア、アシジの裕福な織物商の家に生まれた。フランシスコは、快楽を求め自由奔放な青春時代を過ごしたが、騎士になりたいと望み、戦場に赴いた。そこで病気にかかって、夢の中でイエス・キリストに出会い、回心してイエスに従う決心をした。持ち物を貧しい人びとに与え、自らは粗末な服をまとい、ローマ中を巡礼した。アシジに戻ったフランシスコは、壊れた聖堂で祈っていたとき、教会を建て直すようにとのキリストの声を聞き、すぐに聖堂の再建を始めた。フランシスコの父は、教会のために家の財産が費やされることを嫌い、フランシスコが財産を受け継ぐことを放棄する法的手続きをとり、勘当した。



しかしフランシスコはよりいっそうキリストの言葉に従い、同志を集め、清貧と愛の生活を続けて多くの人びとを感化し、当時の乱れた教会を改善していった。その後ローマに行き、教皇インノセント3世から許可を得て、1209年に「小さき兄弟会」、後の「フランシスコ会」を創立した。

すべての被造物をとおして与えられる神の恵みを悟ったフランシスコは、神に感謝と賛美をささげた『太陽の賛歌』を作った。彼の物語は、『小さい花』という本に伝えられている。また、彼はクリスマスの夜に馬小屋を飾って祝った最初の人であり、その習慣を広めた。1224年、フランシスコは聖痕（キリストが十字架に付けられたときに受けた5つの傷）を受けたといわれている。その生涯は、キリストのしもべとして貧しく愛にあふれるものであり、現代まで世界中の人びとに大きな影響を与え続けている。

10月7日 ロザリオの聖母

1571年、全ヨーロッパはキリスト教を滅ぼそうとするトルコ帝国の脅威にさらされていた。それに抵抗するために、ベニス、ゼノア、スペインの国々は教皇のもとで同盟を結び、ギリシャのレパント沖でトルコ軍の艦隊を全滅させ、ヨーロッパを守り勝利を得た。この勝利は武力によるものではなく、ロザリオの祈りを聖母マリアにささげたことによるといわれた。そのため、時の教皇ピオ5世は、勝利の日を「ロザリオの聖母マリアの祝日」と定めた。



ロザリオの祈りは、主の祈りと天使祝詞と栄唱を唱えながら、キリストと聖母マリアの生涯を黙想する祈りである。（参考:Laudate）

見えないものを見ようとし続ける

齋藤 佳太

私の太くて短い指からは想像しにくいようですが、小学校1年生の時から、ピアノを習い始めました。当時子どもたちが熱狂したゲーム「ドラゴンクエスト」のテーマをカッコよく弾く友達に憧れてのことです。近所で個人教室を開いていた、厳しくも温かい先生に教わり、できることがどんどん増えて楽しく練習していたことを思い出します。良い師に出会えたおかげだと、この文章をしたためながら改めて感謝しているところです。習い始めて1年ほど経った頃、異変が起きました。いつものようにピアノを練習していると、その曲に合わせて、後ろから耳元に向かって階名（ドレミファソラシ）を歌う声が聞こえるのです。もうびっくり！手を止めて振り返ると声は消え、もちろん誰もいません。もしや、昼間からお化け！？



「お母さん大変だ！誰かが近くに来て、ドレミで歌ってる！」

恐怖に駆られて母にそう訴えたところ、母の答えは「あらそう、よかったねえ」この大変な時になんで平気でいられるんだ？と、子どもの頭はハテナでいっぱいになりました。それから声の主は私の後ろにいて、周りの音をドレミで教えてくれるようになりました。私が過去に歌ったことのある聖歌をそれっぽく弾けるのはこの「絶対音感」のためです。（後々聞いてみたら、母は私が絶対音感を身に付けたと分かって喜んだのだとか）

でも、楽譜を読むのはめっぽう苦手。「あなたは練習しなくても弾けるでしょ」とよく言われますが、それは全く違います。聞こえるのと弾けるのは別の話、実際にはたくさんの反復練習が必要です。反対に、初めて見た楽譜で難曲をスラスラと弾いてしまう人もいて、素晴らしいなあと思底思っています。

私と同じ認知をしている人に出会うことはなかなかありません。人それぞれ、様々な音の捉え方があることに驚きます。なのに、人には相手は自分と同じ見方・考え方だと思い込んでしまうところがあります。18年間の教師生活の中で、何百人という子どもを担当してきました。「この子はきっと、かつてのあの教え子と同じタイプだな」などと勝手に決めてかかると、目の前の子の本当の気持ちや考えが見えなくなり、誤った指導につながることもありました。今は社会教育の場で、老若男女問わずより多くの人と関わっています。できるだけ先入観を排し、まっさらな気持ちで人となりを受け止め、その人に合った関わりをするように心掛けています。未だに失敗もたくさんありますが……。人の内面は見た目だけでは分かりません。でも、関わりを通して見ようとし続け、互いのことを知り合えた時の喜びは大きなものです。このように、神様が与えてくださった音楽に関する「タラント」が教えてくれることは音楽にとどまらず、社会生活にも及んでいます。

10月の主な典礼・ミサ時刻

日	曜	典礼暦	担当
1	日	年間第26主日 当教会出身聖職者・修道者のために祈る日	9:00 ミサ 先読み:高塚 第1:安藤 第2:本田 答唱詩編:高塚/多田 オルガン:古野
8	日	年間第27主日 司祭と召出を求めるために祈る日	9:00 ミサ 先読み:多田 第1:トウイハン 第2:西川薫 答唱詩編:間野/古野 オルガン:斎藤
15	日	年間第28主日 病者と洗礼志願者のために祈る日	9:00 ミサ 先読み:高塚 第1:岡本 第2:多田 答唱詩編:三上夫妻 オルガン:古野
22	日	年間第29主日 世界宣教の日 教会から離れた信者のために祈る日	9:00 ミサ 先読み:多田 第1:トウイハン 第2:高塚 答唱詩編:間野/安藤 オルガン:古野
29	日	年間第30主日 死者のために祈る日	9:00 ミサ 先読み:高塚 第1:本田 第2:西川薫 答唱詩編:三上夫妻 オルガン:古野
◆平日のミサ 月曜日～金曜日 6:00、土曜日 10:00			

◆今月の霊名記念日の方…おめでとうございます(敬称略)

1日 幼き聖テレジア	間野千鶴枝、千田玲子、室井寿子、高塚雅子
4日 聖フランシスコ(アシジ)	千田孝嗣、久保榮紀
29日 聖ナルチツソ	ナルチゾ神父様

◆お知らせ

- ・ロザリオ会は10/13(金) 19:00～ 信徒会室で行います。
- ・毎週水曜日 10:00～ 聖書に親しむ会を実施しています。

花当番	
7日(土)	古野
14日(土)	高塚
21日(土)	多比良
28日(土)	野呂

◆幼稚園の予定

- 30日(月) 火災避難訓練
- 31日(火) 10月誕生会

世界宣教の日 とは

毎年、10月の最後から2番目の主日は、「世界宣教の日」として、全世界のカトリック教会で記念される日です。

イエス・キリストは、復活後、天の御父のもとに帰られる前に、遺言のように弟子たちに「全世界に行ってすべての人に福音をのべ伝えなさい」とおっしゃいました。

興味のある方は、このことが書かれているマタイ 28章 16～20節、マルコ 16章 14～18節、ルカ 24章 36～49節、ヨハネ 20章 19～23節を、ご覧になってください。

この命令によって、イエスの弟子たちは、その当時の全世界に出かけていき、イエス・キリストを知らせました。例えば、聖ペトロはローマに、聖トマスはインドまで宣教したと伝えられています。

現在、多くの人がキリスト信者であるということは、これらのお弟子さんたちが、宣教してくださったおかげといえるでしょう。